

## 論文概略

論文タイトル	Short-duration robotic therapy in stroke patients with severe upper-limb motor impairment	
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development	
巻号項	Volume 42	Number 5 Page 683
出版年	2005 年	
支援機器	InMotion2	
分類(ISO9999)	4	
試験相	4	
研究仮説 (目的) の概要	以前の報告より短い期間での集中的なロボットトレーニング(3 週間)により慢性期重度上肢障害者の上肢機能が改善する	
研究デザイン	群内比較 (自己対照)	
障害・疾患	片麻痺	
対象者・数	障害者 15 人	
主要アウトカム	Fugl Meyer Assessment	
副次アウトカム 1	Motor Power Assesment	
副次アウトカム 2	Wolf Motor Function Test	
副次アウトカム 3	Aiming Error	
副次アウトカム 4	Mean speed	
副次アウトカム 5	Peak Speed	
統計学的検定	有	
結果の概要	ロボット治療介入後に上肢機能の有意な改善があり、3 カ月後のフォローアップでも維持されていた	
論文整理番号	133	※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」  
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究  
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター